

茨城県稲敷市立君賀小学校（学校長 石塚 静子）

実施日	平成19年10月24日（水）	時間	午前9時30分～午後1時30分
実施場所	体育館	対象/人数	1～6年生71名
担当教諭	相澤 愛	ファシリテーター	庄司 京子
講師	シェダ・ナウシン・パルニーニ（バングラデシュ・留学生） オレリアン・パロン（フランス・県国際交流員）		

活動内容

1～3年生 お国の紹介（位置や気候、食べ物、あいさつや言葉、文字、お金、日本とのライフスタイルの違い）、民族衣装体験、遊び・ゲームの紹介
4～6年生 お国の紹介（位置や気候、食べ物、あいさつや言葉、文字、お金、学校生活の様子について）、民族衣装の紹介と体験、遊びと民族踊りの紹介

児童の感想

- ・二人とも日本語がとても上手でびっくりした。（1年生）
- ・ふれあいタイムの時にパロンさんに鬼ごっこを教えてあげて一緒に遊んだことが楽しかったです。（2年生）
- ・パロンさんののにセギターと歌でみんな興奮していました。パルニーニさんの踊りがきれいでした。（3年生）
- ・バングラデシュの人はこんな服を着ているんだということが分かりました。写真を見せながら話してくれたのでわかりやすかったです。（4年生）
- ・1年に1度しかないワールドキャラバンなので今年も楽しみにしていました。いい体験ができました。（5年生）
- ・世界にはいろいろな国があるので、こういう交流をすると他の国のことがよく分かって勉強になる。（6年生）

先生の感想

- ・子ども達の楽しそうな顔を見ていると、世界は一つだなと思われた。貸し出し用の資料はとても有効で今後も使用させていただきたい。
- ・日本とは違う文化に触れられてよかった。今回の体験を生かして心の世界を広げて欲しい。
- ・フランスはよく聞く国名だけれど教会を中心とした街の発展、小さな村でも公共施設が充実していることなど、生の生活を紹介してもらって理解が深まった。
- ・バングラデシュはなじみの薄い国と思っていたが、日本との友好がとても深いことが分かり、自

分の勉強不足を感じた。

保護者の感想

- ・パロンさんはユーモアたっぷり、パルニーニさんは踊りが素敵で、お二人とも日本語がとても上手でした。
- ・これから世界に飛び立つ子ども達にとって、他国の文化や伝統を知ることは大切なことだと思う。

成果と課題

- ・異国の文化に触れ合う機会となり、普段することのない体験ができよい活動となった。また、他の国への興味を高めることができ、いろいろな国の文化にふれる大切さを感じた。
- ・2年間同じパターンの集会だったので、次は内容をもう少し変えて交流を深めたい。
- ・子ども達が質問をされても答えられない場面が多く残念だった。事前に地図で国の場所を教えたり、国旗や都市の場所を指導しておいたりすることで、もっと興味をもって話を聞くことができたと思う。

